

食品ロス「自分ごと化」イベント 学生や有識者がオンラインで発信

専修大学と東京都環境公社の共催で9月11日(土)にオンライン開催された「食品ロス『自分ごと化』イベント」では、渡辺達朗商学部教授が司会を務め、食品ロス削減に取り組む学生団体や有識者が、食とサステナビリティの問題についての講演や意見交換を行った。食

品ロスダイアリーなど家庭でできることや、学生団体の取り組みを発信し、食品ロスの問題を社会に広く訴えた。

イベント開催に携わった渡辺ゼミでは、日頃から食品ロス削減に取り組む、インスタグラムでも余剰野菜の上手な保存方法やレシピなどを発信している。



↑神田キャンパスの教室をオンラインでつなぐ



↑イベントに参加したごみ収集員としても働くお笑い芸人のマシンガンズ滝沢秀一さん(前列中央)、渡辺教授(後列中央)とゼミ生たち。※撮影時のみマスクを外しています。

コロナで困窮した学生に 食料品等を無料配付 食料支援プロジェクト

新型コロナの影響でアルバイトができなくなるなど、経済的支援が必要な学生に食料品等を無料で配付する「食料支援プロジェクト」が9月24、27～30日に生田、神田の両キャンパスで実施された。育友会、校友会からの寄付や、東京都や川崎市多摩区などの団体から提供のあった3日分相当の食品(米、レトルト食品、飲料、菓子など)と手指消毒ジェル、生理用品などの生活用品が、事前申し込みをした約450名に配付された。

コロナ禍でアルバイト先が閉店し、別のアルバイト先も勤務時間が減少した商学部2年の留學生は「収入が少なくなっていたところ、とても助かる」。地方出身の商学部3年次生はアルバイト先の飲食店が休業中のため、「休業手当で何とか凌いでいる。収入が安定しなければ次も利用したい」と語る。

食料支援は今後も実施される予定だ。



↑神田キャンパス



↑生田キャンパス



↑支援品